

配分金支払日のお知らせ

配分金の支払い日について、理事会で再確認し、請求事務や配分金の事務処理の期間等もあり、会員への配分金の支払いは、その月分は翌月の15日とし、その日が土・日・祝日の場合は翌日とし、但し、1月と5月の連休が続く月については、経理事務の整理に期間を要するため、支払日が遅れる特例支払日となりますのでご承知願います。

については、来年1月までの支払予定日は、右の表のとおりとし、作業日報の提出が遅れますと、配分金支払が遅延しますので、就業後は翌月早々に速やかに事務所へ提出されるようお願い致します。

今後の配分金支払い予定日

7月17日(火)	翌営業日払
8月15日(水)	通常支払
9月18日(火)	翌営業日払
10月15日(月)	通常支払
11月15日(木)	通常支払
12月17日(月)	翌営業日払
1月18日(金)	特例支払日



検診のおすすめ

シルバーでは、土別市で行っているガン検診や人間ドックの受診を奨励しており、その検診料の一部を助成しております。

検診を受けられた会員は、「領収書」を持参のうえ事務局までお越しください。

自分の健康は自分で守り、早期発見・早期治療し、健康保持に努めましょう。



★具体的な助成内容(国保加入者の場合)

検診内容	助成額
胃・肺・大腸がん	500円
子宮がん	500円
乳がん	1,000円(全額)
国保ドッグ	自己負担額の1/3 ※1万円を上限

詳しくは、センター事務所へ

事故等が発生したときの連絡先

就業中又は就業途上(就業先への往復中)で、【連絡先】

交通事故、転倒・転落事故、窓ガラス破損等の対物事故、入院を伴う病気や事故が発生した場合は、事故の対応や作業体制の変更のため、速やかに連絡してください。

平日：シルバー人材センター 23-4040
休日：工藤業務係長 080-5581-1661
青山業務係 090-3892-5813

編集後記

今年度、平成30年度の定時総会も終了しました。

262名の会員の中で順調に業務が遂行されています。

今年の天候はどうでしょうか？これからの天候を期待しながら、

事故、健康管理に気を付けて元気に頑張りましょう

(広報部会長 須藤弘子)



しべつ シルバーだより

平成30年 7月号(43号)



岩尾内ダム(朝日草刈班撮影)

おもな内容

- ・平成30年度定時総会の開催
- ・各講習会の報告
- ・事務局からのお知らせ
- ・就業スナップ写真など

登録会員数(7月1日現在)

男 173名 女 89名 計 262名

シルバー人材センター
(愛称 生き生きセンター)



全国シルバー人材センターの
ゆるキャラ

チエブクロー

公益社団法人 士別市シルバー人材センター

〒095-0015 士別市東5条7丁目

TEL (0165) 23-4040

FAX (0165) 22-4021

ホームページ http://shibetsusc.web.fc2.com/

平成30年度定時総会

定時総会が5月31日土別グランドホテルにおいて、会員257名のうち、65名の出席と177名の委任状のもとに開催されましたのでご報告いたします。30年度の事業運営にあたり、今後とも会員皆様と関係機関のご協力を宜しくお願い申し上げます。

理事長挨拶



理事長
佐藤 準一

当センターの受注金額は市及び関係機関、事業所のご協力により大幅な増となり、会員数及び入会率は、全道では高い評価を受ける結果となっておりますが、農業を支える会員や除排雪の作業に従事する会員が不足し、打開策を見出せない現状です。

平成29年度決算では、契約金額は環境センターへの新規就業や記録的な大雪により前年より増となり、事業収支は良い決算報告ができる結果となりました。

平成30年度事業計画及び収支予算は、市のご支援により事業費及び補助金の増加を見込むことができ、国の補助金も事業仕分け時以上の補助金が予算計上され、センター応援団の国会議員連盟の努力の賜物と捉えております。

国では少子高齢化による労働力不足の解決策を高齢者の余剰労働力に求めており、シルバーの存在の原点である「生きがい対策」に加え、公益社団法人として「存在自体が地域貢献」と考えており、これまで以上に地域社会の期待に応える事業所として事業を推進し、市民や会員の声に耳を傾け、より一層健全な運営を図っていかねばならないと考えています。

一方の柱に安全対策があり、会員による就業中の事故は依然として発生し、安全就業と事故の防止に向け、更なる取り組みが重要となっております。「安全はすべてに優先する」を基本スタンスとして運動を実施し、「事故防止は自らの責任である」ことを再認識し、会員、役職員が一丸となって安全対策に取り組み、「事故ゼロ」を目指し、事業推進に努めて参ります。

ご祝辞



土別市長
牧野 勇司様

定時総会が盛大に開催されますことに、心からお祝い申し上げますとともに、日頃のご活躍に深く敬意を申し上げます。

今日まで培ってきた豊富な技術を生かし、幅広い分野でご活躍し社会貢献され、シルバーの目的とする生きがいづくりと交流の場を生み出すため、各種活動に取り組み、公共施設の管理運営や冬季除雪作業にご尽力いただき、私個人としても冬囲いや除雪にお世話になり深く感謝しているところです。少子高齢化により労働力不足となる中、今後とも皆様がお元気で地域発展のためご尽力くださるよう、お願いする次第です。

市内の話題として、チャレンジデーに初めて参加したところ27%とあと一歩でしたが、検証しながら来年も取り組む所存で、更には地元の高校野球チームが勝ち進んでおり健闘を祈りつつ、皆さんと共に元気に頑張っていこうではありませんか。シルバーの益々の発展をご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。



道議会議員
北口 雄幸様

総会が盛大に開催され、地域の担い手として支えて頂き感謝申し上げます。

先日、NHKの縮小ニッポンという番組で、この20年間で労働人口は1千万人減少し、それを高齢者が埋め合わせし、65歳以上では8人に1人が働き、世界でNo.1とのことで、今後の人口減少による高齢化社会では、皆様のご活躍をお願いしなければなりません。

北海道の人口は15年間で33万人減少し、農家戸数も4割減となり、地域をどう守るのが課題となっており、国では高齢者の社会参加とともに、外国人からのサポートのあり方についても国民的な議論が必要となっております。

皆さんが持つ様々な知恵と経験をもとに社会参加していただいていることは大切なことであり、これからもそのニーズは高まるものと考えます。定年延長などにより会員確保が難しい状況とのことですが、地域の中で支え合っていくことが肝要であり、私自身の今後の活動において、市長とともに連携して対策を進めたい。

シルバーの益々の発展と、事故に気を付けて就業されますようご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

親睦会による交流会の開催

定時総会終了後、親睦会主催による交流会が開かれました。牧野市長と北口道議もご出席いただき、カラオケで素晴らしい歌声を披露するなど、会員同士楽しく交流を深めました。



サークル紹介

皆さんも参加しませんか？ ご照会は会長又は事務局まで

釣り愛好会 会長 根上 鐵男

会員は16名で年2回、6月頃にカレイ船釣り大会を開催し、大物狙いを競い楽しんでいます。

シルバーグリーンパークゴルフクラブ 会長 有野 強

会員は38名で、5月～9月まで月1回ふどうパークゴルフ場で大会を開催しています。年間の表彰もありみんなで楽しく活動しています。

シルバーカラオケ愛好会 事務局 穴戸 俊夫

冬期間、第2・第4金曜日にシルバーワークプラザ2階研修室又は市内のカラオケ店で活動しています。



今年の第1回釣り大会（釣り愛好会より）

チャレンジデーに参加

5月30日に市全体で初めて取り組むチャレンジデー2018にシルバーとして参加表明し、駐車場にて就業前に一斉ラジオ体操を行いました。

爽やかな青空の下、土別市ラジオ体操連盟会長である会員の本間勇夫さんの指導のもと、手・上半身のストレッチから始め、ラジオ体操第1、ラジオ体操第2を通し15分間の運動をしました。

残念ながら対戦相手には敗れましたが、体をほぐして、一汗かいたからの就業開始となり、運動への取組のきっかけになりました。



シルバーワークプラザ駐車場でラジオ体操

会員募集活動

6月15日にビックハウス土別店前にて会員募集活動を行いました。

広報部会と理事長も加わり、会員募集中という「のぼり旗」を掲げ、新たにPR用のベストを着用し、ティッシュとチラシを来店者に配布し声かけをしました。

今後も、今回同様に大型店前での募集活動や8月26日開催の土別市産業フェアでシルバークの活動紹介を行い、PRに努めて参ります。



新たに作成したPR活動用ベスト



店舗前にてPR活動

会員拡大への取組みとして「1人1会員入会活動」のお願い

会員数は平成14年の446人をピークに、近年は250名程度と、年齢構成も70歳以上の会員が67%と高齢となっています。

このため、一般家庭や企業からの発注依頼にお応えできない場合が増えてきています。

皆様の隣人・知人に、「シルバー会員となって、市民生活に必要とされる軽易な仕事に就いて、私たちと一緒に地域社会に貢献しませんか!」と入会のお誘いをして下さい。

詳しくは、事務局で電話や直接面談して説明いたしますので、新規会員の掘り起こしを是非ともお願い致します。

シルバーと一緒に働いてみませんか?



皆さんからの声掛けを!

ボランティア活動の参加について

7月21日(土)に、翌日開催の土別ハーフマラソン大会に参加される皆さんが、気持ちよく走れるよう、コースのゴミ拾いを当センター会員によるボランティア活動を行います。

別添のチラシにより、参加できる方は事務局までご連絡ください。



熱中症予防のために

- ①のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分・経口補水液などを補給する。
- ②通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する。
- ③保冷剤、氷、冷たいタオルなどで頭部や首筋を冷やす。
- ④就業中は無理をせず、冷房のある施設や日陰など涼しい場所で、休憩を十分にとる。
- ⑤日頃から睡眠や食事など体調に気を付ける。

水分を摂取できない、意識がない、呼びかけに応じない場合は直ちに救急車を要請し大至急病院へ!



蜂にご注意!

- ・服装は黒いものを避け、白っぽいものを着る。
- ・香水、整髪料、体臭も蜂を刺激します。

蜂に刺されたらとるべき応急処置

- ①速やかにその場から離れる。
- ②傷口を洗い毒を絞り出す。口で吸いださない。
- ③傷口に抗ヒスタミン系ステロイド軟膏を塗る。
- ④傷口を冷やす。

頭痛、めまい、嘔吐、呼吸困難の兆候が出たらショック症状の疑いがあるので直ちに救急車を要請し大至急病院へ!



佐々木事務局長より議案説明

29年度の事業実績と収支決算並びに30年度の事業計画と収支予算について説明があり、会員数と就業機会や就業分野の拡大、安全就業対策、適正就業の推進、財政基盤の強化、組織体制の強化など、具体的な取組について報告がありました。



山田会員による議事進行



五十川監事からの監査報告



*** 新役員紹介 任期は平成30年5月31日から2年間 ***

任期満了に伴い、新役員として全員再任の承認を得、その後の臨時理事会で理事長他も再任されましたので、今後ともよろしくお願い致します。

理事長	佐藤 準一	理事	黒川 仁	理事	沼田 健一
副理事長	青山 昭雄	理事	坂野 光則	理事	長谷まり子
副理事長	小林 均	理事	坂本 憲洋	理事	宮澤 秀一
常務理事	佐々木 勲	理事	柴山 尚洵	監事	五十川寧弘
		理事	須藤 弘子	監事	高橋 貞男

理事会の開催

ほぼ2か月毎に理事・監事の役員による理事会を開催し、各月の運営実績や会員数の動向、事業計画や収支予算、事業実績や決算など、諸課題について協議を重ね、公益社団法人として適切な事業運営に努めています。

また、理事により総務・財政、事業、広報の3つの専門部会を構成し、個別の課題について協議し、適切な組織運営にあたっています。



交通安全講習会

4月19日にシルバー研修室において土別警察署の山本泰樹交通課長を招き、本格化する夏作業を前にして交通安全への注意すべき点など、ご講話を頂きました。

会員59名が参加し、後部座席のシートベルトの重要性について、実例とともに悲惨な事故を防ぐためにも、後部座席でもシートベルト着用を心がけるようお話がありました。

また、オレオレ詐欺防止について、知らない電話番号には出ないようにして、怪しい、様子がおかしいと感じた場合には、警察に連絡してくださいとのことでした。



山本泰樹 交通課長

平成30年4月1日より北海道自転車条例が施行されました

【自転車利用者の責務（第5条）】

- 関係法令の遵守、歩行者・自動車等に十分配慮した利用、必要な点検整備に努める。
- 乗車用ヘルメットの着用、夜間の自転車側面への反射器材の装着に努める。
- 自転車を利用する際に自然環境の保全への配慮に努める。
- 冬期における道路状況を考慮した適正な器材の装着に努める。

【自動車等運転者の責務（第6条）】

- 自転車及び自動車等が共に道路を安全に通行できるように配慮する。
- 自転車の側方通過時の安全な間隔の確保又は徐行するよう努める。

自転車は車両！交通ルールを守って、安全・適正に利用しましょう

剪定・消毒班講習

新規に2名の会員が加わったことから、5月17日に全会員8名が参加し、午前中はシルバー研修室での講義、午後からは事務所前で消毒機械の操作方法について実技講習を行いました。

その後、実際に依頼先での消毒作業に就業し、剪定技術については、別途、旧総合福祉センター前庭で4日間、試供木を用いて伸び過ぎた枝や折れている枝の確認や、ハサミの入れ方など、剪定の基礎と立木の伐採要領について習得し、剪定作業に就業開始しました。



安全大会

7月2日就業前の早朝に、シルバーワークプラザ前で、安全就業強化月間啓発大会を開催しました。

48名が参加し、佐藤理事長からは「シルバーは健康と安全が第一」とのお願いと、8名の安全就業対策委員の紹介の後、青山安全就業対策委員長からは「就業前のミーティング、周囲の状況確認、交通事故防止など」、平成30年度の安全就業取組事項を報告し、全会員が安心・安全に就業できるよう安全対策をお願いし、会員一同が意思確認したところです。

また、大会前に、安全就業対策委員が就業時に利用している会員の自転車点検を行い、修理が必要な箇所を指示し、未然の事故防止に努めました。



公益社団法人士別市シルバー人材センター安全標語

安全は 命の尊さ 計る術

平成28年10月18日制定

安全就業対策委員会

任期は平成30年6月1日から2年間

安全就業対策委員の任期満了に伴い、新たに2名の委員が加わりましたので、今後ともよろしくお願いたします。

委員長	青山昭雄	委員	坂野光則
副委員長	工藤利一	委員	柴山尚洸
副委員長	小林 均	委員	三宅敏行（新）
委員	北岡敏雄（新）	委員	宮澤秀一



庭木冬囲い外し



道路焼砂清掃



水郷公園一斉清掃



草刈作業



水郷公園管理 剪定指導



朝日班朝のラジオ体操